

平成28年度第2回区代表委員会議事録

日時：平成28年10月17日（月）18：30～20：30

場所：横浜市健康福祉総合センター8階研修室

<議題及び内容>

1・区代表委員会委員長 古藤さんより挨拶

2・各委員会より活動報告と今後の予定担当役員より

・災害対策委員会・・・トイレ研修を行い好評であった。災害時のトイレの重要性を感じた。

メールにて緊急連絡網の訓練を行ったが、一部廻っていないステーションがあった。今後対策を再検討していく。

・統計委員会・・・アンケート回収率92/223・40%で昨年より回収率が低い。20日まで〆切を伸ばしたので、各区で呼びかけをしてください。

10月中にクリーニング、11月SPSSを使用し集計、考察を行います

・訪問看護研究委員会・・・現在7ステーション詳録〆切、2月本番に向け準備を進めている1月中にはパワーポイント完成予定

・コンサルテーション委員会・・・今年度の相談件数は2件。相談があるステーションはホームページからも相談を受け付けています。

今までコンサルテーションを個人登録だったが、今後は病院の看護師を活用。病院を窓口コンサルしてくれる看護師を紹介してもらい登録していく

どの病院にどんな認定看護師がいるか今後お知らせしていきたい

・サマリー検討委員会・・・本日委員欠席にて次回お知らせします

質問：統計委員へ緊急、看取りアンケートの記入方法、土日の日中の記入はどこにすればいいのか。栄区のステーションで案内が入っていないステーションがあった。

*確認しメールにて後日返信します。

3・委員任期について各区より

・都築区：今年で4年目、特に任期は決めていない

・港北区：2年目、毎年話し合い代表を決めている特に任期はない

・港南区：3年目、特に任期はない

・保土ヶ谷区：1年任期、2年でも可能ではあるが、みんないろいろな委員を引き受けている。委員を受けないステーションもあり一部に負担がかかっている。

・金沢区：2年任期可能である

・磯子区：1年が限界、2年の方が良いとは思いますが、ステーションの管理者も変わるため難しい

・鶴見区：2年可能だが、引継ぎ時次の代表と2名参加はどうか

・栄区：2年可能だが、会議開催時間を昼や夜でも早い時間など検討してほしい

・泉区：13ステーションの内7ステーションは何かしらの委員をしているため1年任期にしてほしい

・青葉区：2年はきついが引継ぎを考えると仕方ない

・緑区：2年可能、最期に次の代表と参加し引継ぎをしてはどうか

・南区：2年可能、副を決めどちらかが参加するのもいいのではないか

* 区の状況に合わせ基本は2年任期だが無理なら、引継ぎをしっかりと行う

4・協議会事業について・在宅看護の資質の向上、普及、啓発のための活動

～地域の看護職との連携（磯子区の活動）～

磯子区から：磯子区では看看連携として、包括、デイサービス、デイケア、小規模多機能、入浴サービス、病院の連携室、行政の看護職が集まり年4回会議をしている。今年度は終末期退院後どこに行くのと言うテーマで、各職場からの意見を出し合った。会議をしていく中で、聞こえてくる声としては、看護職の交流の場、研修の場が少ないと言う意見だった。今後横浜在宅看護協会の案内をしていきたい。勇美財団の助成金を受けることができたため、人体模型も購入でき、①看取りについて②胃ろうについて③バルンについてを介護職に研修し大変好評であった。

質問：勇美財団とは何か

*在宅事業に対し助成金を出してくれる11月23日にビックサイトで全国大会があるため、興味のある方は参加してみてもどうか

今回代表の所に事務局をおいて磯子区内のステーションみんなの手分けし協力して申請を行い55万円の助成金をもらった。

質問：看看連携はどんな形で呼びかけ仲間を作ったか

*今年で5年目になるが、初めは事業者単位で呼ぶため福祉系の管理者が参加していた（看護師は非常勤、アルバイトが多い）。少しずつ看護師参加に変わってきた、今年からは看護師のみの参加会議にした。病院の連携室は100%参加するが、介護系の事業所は勤務形態の問題か、なかなか集まらない。

*各区磯子区のような取り組みができるといいのでは

5・各区の状況

- ・戸塚区：精神専門のステーションがあるため、研修に力を入れている。1回/2カ月会議をしている
- ・西区：医師会が中心に動いているため、医師会と連携していかないといけない
- ・南区：連絡会は行政と連携しておこなっている。在宅医療相談室を中心に事例検討会議等開催している。
- ・都筑区：区内の多職種が入り話し合う部会があり連携している。ステーション会議は2回/年行っている、
- ・港北区：2年合同定例会を行う。医療部会等もあり参加している
- ・港南区：精神科看護の強化に取り組んできる
- ・保土ヶ谷区：研修会や相談室主催の会議を1/月行うなどして連携している
- ・金沢区：出席するステーションは決まっており、参加しないステーションもある。相談室主催の勉強会等に参加している
- ・鶴見区：2回/年認定看護師を呼んで勉強会を開催したり、ケアマネと看護師との意見交換を行うなど連携している
- ・栄区：1/2カ月定例会を行っている。今後磯子区を参考にしたい
- ・泉区：顔の見える関係強化。行政と連携、病院との研修会、ケアマネとの合同勉強会等行っている。フェジカルアセスメント、接遇の研修を企画している
- ・青葉区：事例検討会、災害NSが入り研修会等行っている。2回/年区独自に連絡網訓練をしている。
- ・緑区：医師会主催の研修に参加している
- ・中区：ステーションの加入が3か所になった。1/月定例会、研修会も行っている

質問：区連絡会では会長が決まっているか、会則はあるか

* 港北区では組織的に決まりがある。他の区では特にないため、それぞれの区で今後検討してはどうか

会長より

横浜在宅看護協議会のパンフレット、ステーション一覧を作成したので、欲しい区があれば連絡ください。現在横浜市には260ステーションがあり、協議会に加入しているステーションは230か所。30か所は加入していないため、新しいステーションができればそれぞれの区で声掛けを行う。加入していないステーションを各区の連絡会でどのように対応していくか

協議会主催の研修会等をお知らせし、加入してもらい研修会参加を促していく

事業所単位で加入している場合はいいが、デイサービス等パートの看護師が個人で加入する場合の会費は今後検討していく。

現在ステーション以外はクリニック、リハセン、病院相談室の3名が加入している

6・次年度の委員会活動について

- ・活動報告で終わるのではなく委員会としてなにかできないか
- ・ステーション数が増えているので、区単位で発信、各区の活動のレベルUPをしていく
- ・各区、地域のトピックス、情報発信し共有し、区代表から各ステーションにおろしていく

7・その他

会長より：18区に在宅医療相談室ができているが、各区どのように連携しているか。医師会立のステーション内に立ち上げているが、ステーション管理者と兼務しているところ、専任を置いているところなど、区により違いがあるので、是非区のステーション連絡会に呼んで情報共有してほしい

- ・泉区：2回/年研修会参加、ツールを利用し空き情報を提供している
- ・栄区：勉強会に参加、空き情報の共有
- ・鶴見区：勉強会に参加している
- ・磯子区：勉強会に参加、さまざまな窓口になってくれており助かっている
- ・金沢区：連絡会で情報発信してもらっている
- ・保土ヶ谷区：1/月で会議、連携ノートの作成等行っている
- ・港南区：定例会で空き情報の共有
- ・港北区：連絡会に参加し情報共有、毎週木曜日に空き情報確認
- ・都筑区：空き情報をUPすると情報が上に来ている
- ・南区：空き情報の共有をしている
- ・西区：3回/年の定例会に参加
- ・戸塚区：5月からスタートしたばかりだが、研修会を行っている。新規ケースの流れが変わった気がする
- ・中区：研修会、ネットを利用し空き情報共有をしている
- ・緑区：定例会や研修会に参加し連携している

8・意見交換

- ・港北区：法人の方針でアマチュア無線の資格を取得した。今後災害時に使用できればいい。

9・会長より挨拶